



造船・船用工業分野
特定技能1号試験について

2020年3月

試験区分	溶接、塗装、鉄工、仕上げ、機械加工、 電気機器組立て
学科試験	問題数:30問、○×式 試験時間:60分
実技試験	溶接 (本会の溶接技量試験と同等のもの) 塗装、鉄工、仕上げ、機械加工、電気機器 組立て (技能検定随時3級と同等のもの)

- 本会の溶接士技量試験と同様の方法(鋼船規則M編第5章)で実施
- 受験者が、実技試験内容を承認の範囲に含む有効な本会の溶接士技量資格を取得している場合は、実技試験は免除

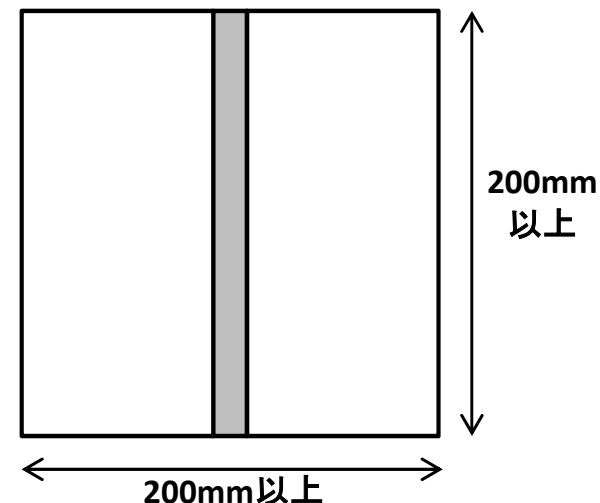
概要

- 手溶接、半自動溶接、ティグ溶接のいずれかを選択
- 板材を下向きで突合せ溶接(片面溶接裏当てあり)
- 母材は厚さ9ミリ以上の普通鋼、ステンレス鋼又はアルミ合金のいずれかを選択

合否基準

- ① 外観試験
 - 有害と認められる割れ、ブローホール、アンダーカット、その他欠陥がないこと
- ② 曲げ試験又は放射線透過試験
 - 有害と認められる割れ、融合不良、溶込み不良、その他欠陥がないこと

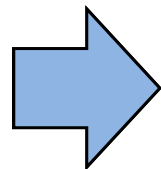
試験材寸法



○国内、海外にて随時実施（申請に応じて実施）

○原則、出張試験方式

（試験に必要な設備、材料等を申請者が準備し
本会の試験監督者を派遣する方式）



溶接技能評価試験、技能検定と同様の方式

○一定の受験ニーズがあれば集合試験も実施

（試験に必要な設備、材料等を本会が準備し
本会が定めた日時、場所に受験者が集合）

○実施可能な国：フィリピン、国内

○実施可能な試験区分：溶接

○試験実施の実績

日時：2019年11月28日（木）

試験区分：溶接（手溶接）

場所：フィリピンBacoor市（マニラ近郊）、日系企業の船員訓練施設

受験者数：14名（うち合格者数7名）

他の国での試験、他の区分の試験は、準備ができ次第
実施予定

最新の情報、受験案内、受験申請書等については本会の以下の
ホームページ参照

<http://www.classnk.or.jp/hp/ja/authentication/evaluation/index.html>

THANK YOU

for your kind attention

